

発行日: 2026-01-07

バージョン 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 7-AAD/CFSE Cell-Mediated Cytotoxicity Assay Kit
製品番号 72782
キット構成要素 89587: 7-AAD Viability Dye
27868: Cell-Based Assay Buffer Tablet
16650: CFSE Stock Solution

安全データシートの供給者の詳細

製造者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

供給者

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体	区分 4
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
区分 2: 呼吸器	

GHSラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H227 - 可燃性液体
H371 - 臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

キット 構成要素		16650: CFSE Stock Solution		
化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
ジメチルスルホキサイド	>95	(2)-1553	(2)-1553	67-68-5

キット 構成要素 89587: 7-AAD Viability Dye
27868: Cell-Based Assay Buffer Tablet

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動する。呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。
皮膚に付着した場合	直ちに石けん(鹼)と多量の水で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。
飲み込んだ場合	水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。 水噴霧 二酸化炭素(CO2) 耐アルコール泡消火剤 粉末消火剤
使ってはならない消火剤	警告：放水では十分な消火の効果を得られない場合がある。
特有の危険有害性	引火性: 熱分解により、毒性かつ腐食性のガス/蒸気が発生することがある。
危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

緊急時対応要員以外の人用	蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。粉じんの形成を避けること。人員を安全な区域に避難させること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を使用する。すべての着火源を排除すること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	製品が排水路に入らないようにすること。重大な漏出を封じ込めることができない場合は、地方自治体に報告しなければならない。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	不活性吸収剤で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。汚染された表面を十分に浄化すること。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を着用する。蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。十分換気されているか確認すること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。裸火、高温面および着火源から遠ざけること。静電気に対する予防措置を講ずる。
----------	---

保管

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
------	-------------------------------

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム
許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的許容値	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
環境ばく露防止	情報なし
保護具	
呼吸用保護具	【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	不浸透性手袋
眼及び／又は顔面の保護具	側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

キット 構成要素	89587: 7-AAD Viability Dye
物理状態	液体
外観	無色透明
色	赤色
キット 構成要素	27868: Cell-Based Assay Buffer Tablet
外観	錠剤
色	白色
pH - 値 1	7.4
キット 構成要素	16650: CFSE Stock Solution
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色
方法	密閉式
引火点 °C - 値 1	89°C
方法	密閉式
蒸気圧	0.37 MM_HG
自然発火温度 °C - 値	215°C
爆発下限界	3.5%
爆発上限界	42%

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定
避けるべき条件	熱、炎及び火花
混触危険生成物	強酸化剤、強酸、強塩基、酸塩化物、ハロゲン化リン、強力な還元剤
危険有害性分解生成物	二酸化炭素、窒素酸化物(NO _x)、硫酸酸化物、塩化水素、酸化リン、カリウム酸化物、酸化ナトリウム

11. 有害性情報

急性毒性

成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ジメチルスルホキシド	= 28300 mg/kg (Rat)	= 40000 mg/kg (Rat)	> 5.33 mg/L (Rat) 4 h

症状 過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。

製品情報

経口 出荷時の製品に由来する危険有害性はない。

吸入

キット 構成要素
吸入 **16650: CFSE Stock Solution**
気道刺激を引き起こすおそれがある

皮膚接触 出荷時の製品に由来する危険有害性はない。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u>	規制対象外
<u>ADR</u>	規制対象外
<u>IATA</u>	規制対象外
<u>日本</u>	規制対象外

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制**労働安全衛生法**

化学名又は一般名	区分	含有率 %
ジメチルスルホキサイド 67-68-5	安衛法表示対象物質 (令和8年 4月1日以降) / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に 基づく 不浸透性の保護具等の使用義務 物質	>95

16. その他の情報

発行日: 2026-01-07

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値

* 皮膚兆候

Ceiling:

+

最大限值:

感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

米国環境保護庁

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)

危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース (IUCLID)

日本政府によるGHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
RTECS (化学物質毒性データ 総覧)
世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終